



学校教育目標

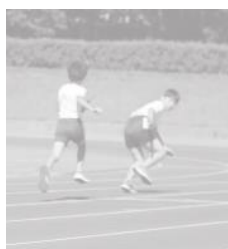
自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童の育成



小体会 4人の本気のバトンパス！

10月12日、これ以上ない秋晴れの下、60回目を迎える小体会が2年ぶりに開催されました。南小5・6年生4名は、かきどまり補助競技場で行われた陸上競技に参加しました。

会場には、長崎市内の小学6年生（一部5年生）がスタンドいっぱい集いました。少人数に慣れた私たちからすると、ほとんどありえない数です。この雰囲気を経験するだけでも、参加する甲斐があったというものです。



さて、競技なのですが、まずは さんが100m走で本気の走りを、 さんが走り幅跳びで本気の跳躍を見せ、それぞれ自己ベストを出すことができました。そして4人全員で取り組んだ400mリレー。バトンパスのタイミングがばっちり、4人の持ちタイムを考えると最高の記録が出せました。小体会という大舞台上、4人の本気の思いがつながり、見事な追い上げで2位という結果もついてきました。競技を終えた子どもたちは、全員、達成感、満足感いっぱいの顔をしていました。小体会という一つ目のヤマをみんなで乗り越えることができました。もちろんこうした成果は、それまでの練習のたまものです。小体会への取組で培った体力、気力は、2つ目のヤマ「運動会」にも生かせるはずです。

南小のリレーの時は、同じ応援席の茂木小のみなさんが、南小を心の中で応援し一緒に喜んでくれました。（声出し不可のため）他校のすばらしい走りや跳躍等にもふれることもできました。こうした交流なども良い経験でした。小体会は、極小規模校の南小の子どもたちにとって、とても素敵な学びの場となりました。

子ども国際会議 in 出島メッセ

10月10日の夕方「子ども国際会議」がオンラインで開かれました。出席したのは市内の小学校から1名ずつ選ばれた6年生と、姉妹都市のオランダ・ライデン市の子ども達あわせて約130人です。南小からは さんが代表で出席し、環境問題についてオランダの子どもたちとグループディスカッションしました。 さんのグループは「エネルギー」でしたが、英語で自己紹介をしたり、自分から挙手をして発表したり、南小の代表としてキラリと輝く活躍を見せてくれました。 さんの話によれば、オランダの子どもたちは、自作の模型なども使って説明していたそうです。遠く離れたオランダの子どもとリアルタイムで話合いができるなんて、一昔前だったら夢のような話です。とっても貴重な経験ができたと思います。 さん、お疲れさまでした